

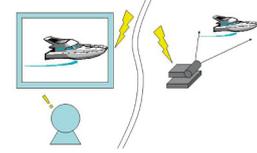
■キーワード

遠隔カメラ操作 遅延時間 テレビ会議 監視カメラ ヒューマンインタフェース

遠隔カメラ操作インタフェース
遅延時間の影響を低減する

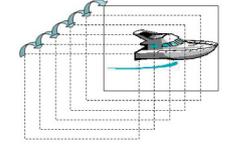
■研究の概要

遠隔カメラを操作して目的の対象物を見たい
遅延時間を無くすることが困難ならば…遅延時間を感じさせないインタフェースの提案



遅延時間があると遠隔カメラ操作が困難になる
× 目的のものに到達しない
× 目的のものを通り過ぎる

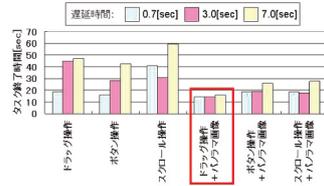
ユーザは断続的な細かい操作を繰り返す
× 操作効率の大幅な低下



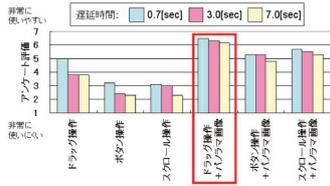
■研究・技術のプロセス/研究事例

- ①ドラッグ操作+パノラマ画像
 - 操作のフィードバックが即座に得られる
 - 操作結果が予測可能である
- ②従来インタフェースよりも優れた評価結果
 - 少ない操作回数
 - 短いタスク達成時間
 - 高い主観評価

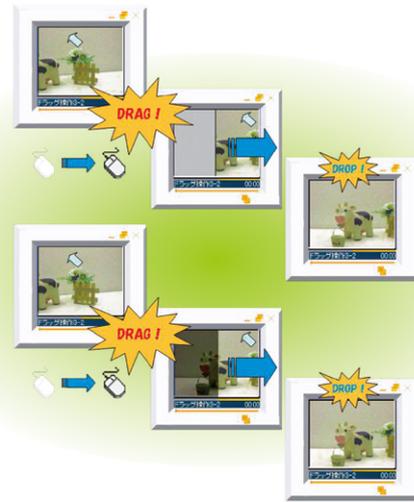
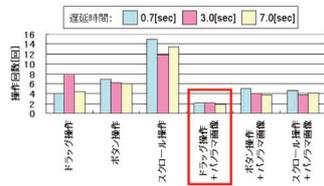
実験結果(タスク終了時間)



主観評価



実験結果(操作回数)



■研究・技術のポテンシャル

さまざまな応用範囲

- Webカメラ
- テレビ会議システム
- 監視カメラ
- その他各種コミュニケーションシステム



■セールスポイント

遅延時間をなくすのではなく、人が遅延時間を感じにくくすることによって、遅延時間による遠隔カメラ操作の操作性劣化を防ぎます。このアイデアは他の遠隔機器操作にも応用可能です。